

2023年11月6日 第472号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動「11・3 憲法大行動」に 4000 人

つなごう 憲法をいかす未来へ

国民のくらし・いのちを守らない岸田政権は退陣！

つなごう憲法をいかす未来へ—憲法が公布されて77年の11月3日、総がかり行動実行委員会は国会正門前で「11・3 憲法大行動」を行い、4000人が参加しました。社民党の福島みずほ参議院議員、沖縄の風の高良鉄美参議院議員、れいわ新選組の榑淵万理衆議院議員、立憲民主党の石川大我参議院議員、日本共産党の小池晃参議院議員があいさつしました。

主催者あいさつをした総がかり行動実行委員会の藤本泰成共同代表は、パレスチナ問題について「憎悪と報復の連鎖を止める努力をしなければならない」と強調。「平和憲法が内実を伴っているものになっているのか。平和の基盤ができているのか。考えて行動していこう」と呼びかけました。

メインスピーチとして2人が発言。恵泉女学園大学の齊藤小百合



教授は、「男たちだけの永田町の視点・見方から多様な考え方のある政治を取りもどす、反映させていくことが重要。家父長的価値観、力や武力、暴力で他者を支配するという政治は憲法が大事にしていることの対極にある」と批判しました。

日本体育大学の清水雅彦教授は、「敵基地攻撃能力を保有した自衛隊は単なる実力組織と言えるのか。敵地・相手国を全面攻撃することになる危険性がある。中国、北朝鮮、ロシアなどの国々と外交で戦争にならないようにし続けなければならない。そのために憲法9条は決して無力ではない」と強調しました。

リレートークでは3人が発言。沖縄からの発言で加藤裕弁護士は、辺野古埋め立て設計変更承認の代執行訴訟について発言。「対話で解決すべきと要求しているが国は対話を拒否している。社会を変え、国会を変え、辺野古問題に決着をつけよう」と呼びかけました。

福島からの発言で「避難の権利」を求める全国避難者の会の大賀あや子さんは、アルプスの配管を洗浄した水がホースが外れたことで飛び散り3次下請けの労働者にかかった問題について話し、

「東電は、事故原因究明はこれからと言っているが、今までも透明性高く情報発信すると言ってきたがそれが見られない。原発事故から 12 年が経ったが、いのちと人権が守られていない」と指摘しました。

保団連の住江憲勇会長は、「政府は、医療へのアクセスを保障し国民皆保険制度の根拠となる健康保険証を廃止しようとしている。マイナ保険証の資格確認ではトラブルが頻発している。解決するには保険証を存続させるしかない」と強調しました。

行動提起を総がかり行動実行委員会の高田健共同代表が行いました。

## パレスチナに平和を! 銀座デモに 1600 人

「パレスチナに平和を!緊急行動」と総がかり行動実行委員会は、パレスチナ情勢が緊迫しているもと、「即時停戦!」「イスラエルはガザへの軍事攻撃を止めろ!」「国際法と国連決議違反の占領と入植をやめろ!」と呼びかけ、11月

5日夜、日比谷公園中幸門から銀座デモを行い 1600 人が参加しました。



### 当面の行動

- 11月9日(木) 憲法共同センター「9の日」宣伝 12時～ 新宿駅西口地下広場
- 11月10日(金) 総がかり行動 パレスチナに平和を! 11・10 緊急行動 18時30分～ 国連大学前
- 11月16日(木) 総がかり行動 署名宣伝 18時～ 新宿駅東南口
- 11月19日(日) 総がかり行動 「19日」行動 14時～ 国会議員会館前